（様式1）

※整理番号

**一般社団法人日本母性看護学会　大規模災害支援者支援事業-**

**発災時支援に入る看護実践者・研究者に対する支援申請書**

|  |  |
| --- | --- |
| **活動・研究名** |  |
| 代表者 | （ふりがな）氏　名 |  | 年齢 | 歳 | 会員番号 |  |
| 所属 | 名称 |  | 職位 |  |
| 住所 | 〒　　TEL：FAX：E-Mail： |
| 他機関の助成申請の有無 | 　有・無 |
| 共同実践者・研究者 | 氏名 | 所属先 | 会員番号（有の場合） |
|  |  |  |

１

|  |
| --- |
| **活動・研究計画書（活動・研究の必要性および計画）**　 |
|  |

**活動・研究助成金の予算書**（活動・研究助成金科目一覧表を参照して記入して下さい）

※活動・研究助成金科目一覧表を参照し、算出根拠がわかるように具体的に記入して下さい。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科　目 | 細　目 | 費　用（円） | 内　訳 |
|  |  |  |  |

**活動・研究助成金科目一覧表**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　一般社団法人日本看護学教育学会

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科　　目 | 細　　目 | 内　　　容 |
| 旅費消耗品費通信・運搬費印刷費機器・器材費その他 | 現地までの旅費消耗品費通信費宅配料印刷費複写費質問紙の印刷機器、器材等 | 旅費の支出は、当研究課題による研究を実施する上で必要な場合に限る。研究・活動に必要な消耗品。納品書、請求書、領収書を添付すること。5万円未満の物品は消耗品とする。研究に必要な郵便料、宅配料、ファックス料等。必要な領収書を添付すること。切手等については使用明細を記入・提出すること。資料の印刷、コピー等。必要な領収書を添付のこと。機器レンタル料を含む。（学会が認めたもの）　使途が明確であれば、災害における活動・研究費として認める |

一般社団法人日本母性看護学会　大規模災害支援者支援事業-

発災時支援に入る看護実践者・研究者に対する支援

　一般社団法人日本母性看護学会では、大規模災害支援として、発災時支援に入る母性看護学会会員

で実践活動を行う方、また、発災直後から研究という視点で向き合う研究者に対し、実践活動費、研

究費がある程度整うまでの、初期の活動、研究を支援いたします。

　実施要項の詳細は以下の通りです。活動費、研究費がなく支援に手をこまねいているのではなく、

初期の支援活動、それに伴う様々な研究を積極的に進めて頂くための支援者支援活動です。皆様への

情報提供をお願いします。

実施要項

１．助成額

　　　一件：10万　会員1回（助成額）のみ　　　助成総額：20万/年

２．申請条件

　　　代表者が母性看護学会会員であること（会員歴1年以上）

３．大規模災害・本支援事業の対象となる災害

　　　自然災害および人的災害により、被害が広範囲にわたり、復興までに長時間を要し、被災地内

の

努力だけでは解決不可能なほど著しく地域の生活機能、社会維持機能が障害されるような災害を

いう。または、当学会がそれに準じていると判断し、支援が必要と認めた災害

４．申請期間

　　　上記災害が発災してから、6か月間（活動開始後、研究開始後においても発災6か月以内であれ

ば申請可。）

５．採択について

　　　申請があってから2週間以内に採否を通知、その後助成金を指定の銀行に振り込む

６．申請の方法

　　　別紙申請書（様式１）に必須事項を記入し、事務局（総務委員会災害対応部会宛）へメールに

て申し込む

７．メールアドレス：e-mail：g031jsmn-support@ml.gakkai.ne.jp

　　　株式会社　ガリレオ学会業務情報化センター内　一般社団法人日本母性看護学会事務局

８．報告義務

　　　発災から6か月までが申請の対象となるため、支援後3か月以内に報告書と助成金内訳を提出

●申請関連様式

　発災時支援に入る看護実践者・研究者に対する支援事業　申請書（様式１）（Word形式）

　発災時支援に入る看護実践者・研究者に対する支援事業　申請書（様式２）（PDF形式）